

地域にはばたく市民パワー！



ところざわ倶楽部「広場」

所沢市民大学修了者の会 広報紙

2020年12月号(第143号)

発行責任者 佐藤 重松



第14期 定期総会

2020. 11. 25 於新所沢公民館
撮影 / 中島 峯生氏 仲山 富夫氏

ところざわ倶楽部 第14期活動方針

感染防止対策を怠らず 多様で柔軟な活動を展開しましょう！

第14期会長 佐藤 重松



2020年は、新型コロナウイルス感染問題で明け暮れました。現在、第三波が猛威を振るい、活動の停滞を余儀なくされて居りますが、14期総会に於いて、“コロナ禍”の中で安全で安心な運営を具体化し、取り組んで行く方針を満場一致でご承認頂きました。

1. 全会員をつなぐ事業計画は、会員相互のふれあいを土台に、事業部の実施計画に基づき理事会及び事業部が推進役となりながら、関連するサークルとの連携ですすめ全会員の交流の場づくりをします。開催方法については3密回避を前提に、広報部の支援を得ながら、Web会議システムとZoomやYouTubeを使用したオンライン配信等で、会場でのライブ参加を併用する二元的方法で、全会員がどれを選択しても参加可能な状態で実施します。

2. ところざわ倶楽部は市民大学OB会です。市民

大学の継続発展が、倶楽部の継続発展と密接にリンクして居ります。歴代の企画委員長やところざわ倶楽部歴代会長等の懇談会を再開し、市民大学とところざわ倶楽部双方が活力のある方向を模索し、連携して行く事を具体化します。

3. 会員の高齢化について、その現実を踏まえた取り組みの必要性は増々高まって来ています。健康維持を念頭に、高齢期の様々な状況に対応する知恵と関係する機関とつながる情報の共有化を福祉関連のサークルの協力を得ながら引き続き進めます。

最後に、会員の皆様は現役時代に幾多の艱難辛苦を克服された経験をお持ちだと思います。それに比べればコロナ禍の困難はのり越えられることと思います。

14期もところざわ倶楽部の活動への参加で、“笑顔で楽しく”毎日を元気に過ごして参りましょう！

第 14 期定期総会報告

第 13 期総括、第 14 期活動方針を確認

総務部長 中原 幹男

11 月 25 日（水）新所沢公民館ホールにて定期総会を開催

出席者 85 名で議事が進められました。コロナ禍のなか、感染対策を念入りに行い開催しました。

第 13 期総括

佐藤会長より 13 期総括を報告しました。2020 年は春先からコロナ蔓延の影響で、倶楽部 3 大事業（時局講演会・文芸講座・まつり）を中止としました。日常活動が困難になる中で、役員会・理事会や各サークルでも感染防止対策を念頭に様々な工夫をしながら活動が続けられました。

引き続き、中原総務部長、森野事業部長、玉上広報部長、大西総務部副部長より各部活動を報告しました。

13 期退任理事・会計監査へ感謝の拍手が送られ、14 期の理事・会計監査候補が満場の拍手で承認されました。

第 14 期活動方針

佐藤会長から 14 期の活動方針として、3 項目（会員をつなぐ事業・市民大学との連携・高齢化対応）を示しました。各部の方針は、第 14 期定期総会資料をご覧ください。

全体の活動方針（案）
及び予算（案）につき満場
一致で承認されました。



撮影/中島 峯生氏

総会終了後、昭和 26 年松竹制作日本初のカラー映画「カルメン故郷に帰る」の上映会が催されました。

第 14 期 新体制

皆さまのご支援をよろしくお願いします。

役職	氏名	推薦母体	役職	氏名	推薦母体
会長	佐藤 重松	理事会推薦	事業部担当理事	内川 賢治	懐かしの映画
副会長広報部長	玉上 佳彦	理事会推薦	事業部担当理事	栗屋 貴夫	野老澤の歴史
副会長事業部長	森野 辰夫	理事会推薦	事業部担当理事	菊池 一栄	楽悠クラブ
副会長総務部長	中原 幹男	地球環境に学ぶ	事業部担当理事	梅津 博紀	27 期企画委員
副会長	大木 美和子	ドラカン	広報部担当理事	園田ヒロ子	理事会推薦
事業部副部長	松尾 基昭	アジア研究会	広報部担当理事	川上 紀春	活いきシニア
総務部副部長	大西 優	地域デビュー支援	広報部担当理事	浪間 扶美子	理事会推薦
事業部担当理事	仲山 富夫	民話の会	総務部担当理事	石堂 智士	傍聴席
事業部担当理事	薄井 文子	脳活サークル	総務部担当理事	木下 みえこ	食トコ
事業部担当理事	岡崎 久子	理事会推薦	会計監査	遠山 とも子	理事会推薦
事業部担当理事	西郡 貢	所沢の自然と農業	会計監査	田口 元也	理事会推薦
事業部担当理事	水上 俊彦	葵の会			

退任理事・会計監査：中村昌彦、佐藤美津子、戸田チイ子、豊島由久、岩瀬 真弓、田村健一郎<お疲れ様でした>

事業部活動方針(第14期)

事業部長 森野 辰夫

1. 活動方針

新型コロナ禍の終息はまだ当分見通せる状況になく、従来型の大人数が集まるイベント開催は難しいと考えています。その為、会場、人数制限のある中で3密を回避し、コロナの感染状況に応じて小規模なイベントの開催を検討します。

更に、従来の活動に変わるものとしてZoomやYouTube等のIT手段を活用した新たな活動形態を広報部と連携しながらプロジェクト体制を構築して対応していきます。

具体的には、各サークルで開催するイベント・活動状況や講演会、講座等を倶楽部会員へオンラインや動画を使用して配信する企画を検討します。ただ、活動全般は大変見通し難い状況にはあることから万全の準備を払い、情勢を注視し、開催の判断をしていきます。

皆さまのご協力・ご理解宜しくお願い致します。

2. 活動計画

イベント計画は下表の通りです。

	イベント概要	時 期	会場	会場人員	備考
1	サークル紹介	適宜	—	—	サークル主催イベント等
2	時局講演会	秋	ホール	100名程度	コロナ禍の状況による
3	新会員歓迎 チャリティコンサート	春	ホール	100名程度	・倶楽部会員限定 ・会費無料・募金
4	文芸講座	6、7月	—	会場による	会場連続確保困難 開催方法検討
5	総会	11月	ホール	100名	会員限定

*ところざわ倶楽部まつり：現状では開催困難と考えております

広報部活動方針(第14期)

広報部長 玉上 佳彦

1. 活動方針

ところざわ倶楽部の理念である

- ① 学習活動の継続 ② 会員相互の親睦
③ 学びを地域に活かす ④ ネットワーク作りを念頭に
ところざわ倶楽部の広報媒体としての広報紙「広場」と
ホームページにて、コロナ禍でも的確かつタイムリーな
情報発信を継続していきます。

2. 広報紙「広場」

一昨年6月号から続けてきた企画「戦争と平和！」シリーズが11月号で25回となりました。これまで会員の皆様から投稿いただきましたが、今後は新たな企画として「世界の平和」を希求する投稿を中心にシリーズ化していく予定です。

3. あらたな活動様式の模索

コロナ時代に対応したWeb会議システムZoomやYouTubeを活用したサークル活動紹介などを進めていきます。

プロジェクトチーム体制で、積極的な展開を図ります。それに関連して、会員皆様のために、パソコン相談会を継続して企画していきます。

第14期 編集委員(15名)の紹介

氏 名	担 当
佐藤 重松	会長／発行責任者
玉上 佳彦	広報部長・HP担当
川上 紀春	広報部理事
園田 ヒロ子	広報部理事
浪間 扶美子	広報部理事
原田 一成	企画編集担当
小田島 禮子	企画編集担当
岩瀬 真弓	企画編集担当
新井 智子	企画編集担当
稲村 洋二	企画編集担当
大木 美和子	副会長 役員として参加
中原 幹男	総務部長 役員として参加
森野 辰夫	事業部長 役員として参加
池田 新八郎	顧問
八木 雅子	顧問

環境問題シリーズ 第3章

地球環境に学ぶサークル 芝間 伸剛

私たちとエネルギー問題

～わが家の太陽光発電実施例～

地球環境については数多くの問題を抱えています。その中でも特に大きな課題が地球温暖化問題です。先日、菅義偉新総理が所信表明演説の中で「2050年までにカーボンニュートラルを達成する」と宣言されましたが、このCO₂削減のために私たちにはどのようなことができるのでしょうか。

1人の力は小さいとは言うものの、我が家でもこの問題に取り組みました。3年前に太陽光発電システムを採用しました。以前は電気とガス（プロパンガス）を併用して家のエネルギーを賄っていましたが、万が一震災が発生すると復旧に手間取るのはガス供給設備であり、また高齢となり火気の取り扱いを極力避けるという観点も考慮して、オール電化での太陽光発電を設置することとしました。

(1) 電力使用の基本的考え方

今の世の中、電気なしには生きていけません。そうした中でできるだけ合理的な電気の使用を考え、昼間は太陽光発電（容量 4.93kW）による電力で家の消費電力を賄います。余った電力は電力会社に売電します。太陽光発電の電力は自家消費を優先させ、我が家では日中の消費電力が少ないため売電量が多くなります。太陽光発電ができなくなる夕方から夜間の消費電力（照明・エアコン・IH等）は、蓄電池（容量 3.9kWh）で賄います。深夜は割安な深夜電力を使用することで、電気代を抑えることができます。この深夜電力では蓄電池への充電、給湯システムなどに使います。

写真-1 は室内に設置している発電量等をリアルタイムで見ることができる表示盤です。

写真-2 は屋外に設置している蓄電池です。比較的にコンパクトで騒音等の問題も全くありません。



写真-1 室内表示盤(上)

表示部拡大(下)

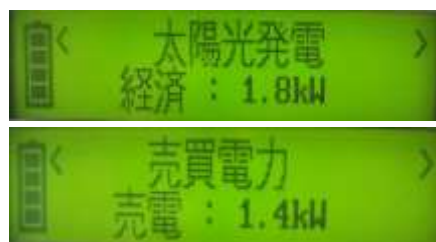


写真-2 蓄電池

(2) 季節や天気による発電量、消費電力の違い

表-1 に 2018 年・2019 年の我が家の太陽光発電量と使用電力量を示します。太陽光発電は天候や季節による日照時間に左右されるため、かなりばらつきが出ています。月ごとの最大値と最小値には 2.8 倍程度の差ができました。日照時間が長く比較的好天の続く 4 月～6 月の発電量が最大となっています。一方、使用電力量は冬期が多くなっています。年間の売電している太陽光発電量と電力会社から購入する電力量はほぼ同じくらいとなっています。

(3) 設置費用の所沢市の補助金について

太陽光発電の設置には、「所沢市スマートハウス化奨励補助金」として所沢市から補助金が支給されますが、我が家の場合太陽光パネルと蓄電池をリース契約（15 年）にしたため、かなり折衝してみたものの給付を受けることができませんでした。これから設置を考えている方がいましたら、考慮したほうが良いと思います。

参考) ① 太陽光発電システム：最大 10 万円

② 蓄電池：最大 16 万円

(4) 再生可能エネルギーのこれから

表-1 でもわかるように太陽光発電で家庭の電力の全てを賄うことはできません。自然を相手にしているため好天であれば使用する電力量を十分に賄え、余剰分を売電することもできますが、雨天や曇天、夜間、太陽光発電は全く機能できません。このため、私たちは再生可能エネルギーの採用を推進しつつも、安定的に供給できる電力とベストミックスで考えていく必要があるのではないのでしょうか。

表-1 使用電力と太陽光発電の比較

単位：kWh

月	太陽光発電量 (売却)		使用電力量 (購入)	
	2018 年	2019 年	2018 年	2019 年
1	242	203	444	474
2	195	251	485	449
3	321	288	355	356
4	427	400	308	381
5	405	435	248	276
6	464	447	225	238
7	339	255	266	252
8	346	330	328	324
9	332	250	268	316
10	206	291	246	267
11	252	215	282	314
12	165	155	364	401
合計	3,694	3,520	3,819	4,048
指数	100	95	103	110

「戦争と平和！」
第26回**<食は愛と希望と平和を育む>**

岡部 まさ子

「平和でなければ、飢餓ゼロの目標は達成されない。飢餓があれば、平和な世界はこない。」2020年度のノーベル平和賞を授与された、国連世界食糧計画(WFP)のビーズリー事務局長は、このようにコメントしています。

WFPは、1961年飢餓のない世界を目指して設立され、被災地や紛争地での緊急事態に食料配布を通して、人々の命を守り、更なる紛争の武器として、飢餓が利用されないよう阻止する活動をしています。



国連 WFP
レッドカップキャンペーン

現在、紛争の激しいイエメン、シリア、南スーダン、エチオピア等、中東やアフリカの国々では、多くの人々が飢餓に苦しんでいます。紛争や内戦は食料不安や飢餓を引き起こし、食料不安や飢餓は、紛争を引き起こすという悪循環となつていっているとされています。そのような状況の中で、食料の安定供給が、平和の可能性を高める為に求められています。平和な社会にあつてはじめて、毎日の安定した食を得る事が出来るように、食と平和は、深く関わっているのです。

2019年の国連報告では、紛争や貧困によって、世界中で6億9000万人の人々が飢餓に苦しみ、満足な食料が与えられていない、加えてコロナ禍で、事態は深刻化していると報告されています。WFP日本事務所代表焼家氏は、「紛争や貧困の中にあつて、アジアやアフリカの子ども達にとって、WFPから支給されている学校給食が、唯一の栄養源となっている、給食は子ども達に、困難を乗り越える力となり、明日への希望に繋がっている。」と子ども達の未来に希望を託しています。

しかし、コロナ禍後の世界では、食料不足や食料の高騰が懸念されていて、この機に食料輸出国はますます富み、輸入国では、食料不足に苦しむ人々が増加すると予想され、富の偏重は拡大していくでしょう。そのような食料危機にこそ、国際協力が必要なのではと思われますが。

私達の社会の現実も同様に、新自由主義という競争原理が蔓延り、自己責任が求められ、経済格差は年々広がっています。このコロナ禍で、真っ先に影響を受けた母子家庭では、日々の食事を二食に減らしているという報告があります。(しんぐるまざあず・ふぉーらむ)学校給食が命綱となっている子ども達も多く、休み明けには、痩せて登校すると聞きました。フード・バンクでは、コロナ禍で、高齢者や若者の食料配布の要請が、増えているとの事です。反面、自給率が4割にも満たない私達の国に於いて、昨年は620万トンの食料品ロスがあったとの報道に接し、「食」という窓を通して、世界の様々な現実が迫ってきます。



2020年のノーベル平和賞は世界食糧計画(WFP)に決まった＝ロイター

(日本経済新聞 10月9日)



「何時も食料品を送って頂き、有り難うございます。米びつにお米がある安心感、本当に感謝しています。」これはフード・バンクへ届けられたお礼状です。私の所属しているサークル食トコでは、「生きることは食べること、食べることは生きること」を活動の柱としていますが、私達に出来る事として、身近な地域の中で、食を通して支え合う事の大切さを実践している、フード・バンクの働きに、ところざわ倶楽部の皆様と共に協力しております。子ども達が、明日への希望を失わないように。支え合う社会、平和な世界を願って。

サークル活動報告

楽しく学んで脳トレしよう

活きいきシニア福祉の会
川上 紀春

3月以降休止していた定例会を6月より再開しました。約4か月ぶりにサークル仲間の元気な姿に接することができ、改めて普通に生活できることのありがたさを噛みしめました。

定例会では、介護保険制度、後期高齢者医療制度や認知症についての他、憲法問題、地球温暖化や終活問題等幅広く学習し、脳トレに励んでいます。介護保険制度については介護サービスの低下、保険料の上昇が懸念されています。最近、新聞各紙で保険料滞納により差し押さえが2018年度は過去最多の1万9221人にのぼったことが、報道されました。老後を支える制度が逆に高齢者弱者を苦しめる結果となっていることに心が痛みます。

ところで「広場」11月号「みんなの広場」で民話の会の薄井文子氏が投稿された「しっとこノート～わたしの望む医療と介護～」をご存知でしょうか。万一のときに備えて、大切にしていることや望み、どのよ

うな医療や介護を望んでいるかについて、自分自身で考えたり、信頼する人たちと話し合ったりするきっかけとなるノートです。ところざわ倶楽部 HP (2020.11.15 付 当サークル会員 佐藤重松氏投稿) に全文が掲載されています。コロナ禍のこの機会に参考にいただければと思います。



楽しい音楽を一緒に ♪♪

楽悠クラブ 田村 健一郎

[2020 年度の鑑賞演目]

- 1月「イル・ディーヴォ・ライブ・イン・ジャパン 1918」
- 2月 レオン・カヴァッロ 歌劇「道化師」
- 9月「ベートーヴェン・生誕 250 年特集」
- 10月チャイコフスキー 歌劇「スペードの女王」
- 11月「ジャズ&ポピュラーを楽しむ」

* [歌劇「スペードの女王」の紹介]



『スペードの女王』は、チャイコフスキーが亡くなる3年前50歳の時の1890年に発表、絶頂期の美しくダイナミックな音楽が、さまざまな歌劇場や音楽祭で取り上げられる人気作です。この作品の前後にはバレエの傑作『眠れる森の美女』と『くるみ割り人形』が作曲されています。

原作は、1834年に発表されたロシアの国民的作家アレクサンドル・プーシキンの中編小説です。

今回鑑賞したのは、2018年8月のザルツブルク音楽祭で上演されたもので、指揮のマリス・ヤンソンスは、チャイコフスキーの甘美な旋律をウイーン・フィルの美しい響きを引き出した、素晴らしい演奏を聴かせてくれました。幾多の来日公演を行い日本の聴衆にも好評をもって迎えられたマリス・ヤンソンスは、残念ながら2019年11月30日、逝去されました。(76歳没。)

この歌劇のタイトルは、主人公が賭博場で「A (エース)」を引くはずが、「スペードの女王 (クイーン)」を引いて負けてしまうというストーリーを表しています。例会にてお待ちしております!!!



サークル活動計画

興味のある活動に参加してみませんか？

1. 葵の会 (水上 俊彦 080-6855-5868)

12月11日(金) 中央公民館8・9号室 13:00～13:30 受付・準備 13:30～15:30 及川先生講義(万葉集②)、15:40～16:40 例会
1月15日(金) 中央公民館6号室 13:00～13:30 受付・準備 13:30～15:30 講義(万葉集③)、13:40～15:40 例会

2. アジア研究会 (玉上 佳彦 090-2497-1076)

12月23日(水)13:30～16:00 中央公民館8・9号室 定例会
テーマ:「中国」の形成 現代への展望
中原会員による報告
1月20日(水)13:30～16:00 中央公民館8・9号室 定例会
テーマ: 未定

3. 活いきシニア福祉の会 (川上 紀春 090-5573-2548)

12月23日(水)13:00～15:00 生涯学習推進センター 定例会
「今年1年の振り返りと来年の活動計画について」意見交換
1月27日(水)13:00～15:00 生涯学習推進センター 定例会

4. 楽悠クラブ (田村 健一郎 2949-3434)

12月15日(火)13:15～16:30 中央公民館3階8・9号学習室
「楽悠クラブ総会」
「ベートーベン生誕250周年特集-2」
1月26日(火)13:15～16:30 中央公民館3階8・9号学習室
「題目 未定」

5. 食を通して所沢を知る会 (木下 みえこ 090-7272-6752)

12月16日(水)10:30～14:00 むい食堂 (04-2994-4893)
定例会・ミニ講演「ワインの基礎知識」
※ 23日(水)の予定を16日(水)に変更しました。
1月19日(火)10:00～12:00 ふらっと(会議室) 定例会

6. 地球環境に学ぶ (中島 峯生 2928-1161)

12月15日(火)9:00～11:00 新所沢東公民館 研修室
定例会 ①討論会「2050年ゼロエミッション達成の問題点」
②持寄り情報、他
1月19日(火)9:00～11:00 新所沢東公民館 研修室
定例会 ①討論会 ②持寄り情報、他

7. 所沢シニア世代地域デビュー支援の会 (田口 元也 090-9820-5668)

12月12日(土)13:30～15:30 生涯学習推進センター多目的室
SPチアダンス練習日 見学大歓迎
12月17日(木)18:00～19:00 市民活動支援センター定例会
1月20日(水)13:15～15:00 中央公民館
定例会「あなたはコロナ禍をどう過ごしていますか？」

8. 所沢の自然と農業 (稲村 洋二 2992-1751)

12月10日(木)10:00～ 新所沢公民館5・6号室 定例会
12月15日(火)9:30～11:30 黄林閑散策路整備ボランティア
12月16日(水)10:00 トトロ21号地落ち葉掃き
12月17日(木) 陽子ファーム落ち葉掃きの為の枯れ枝拾い
12月25日(金)9:30～11:30 黄林閑散策路整備ボランティア

9. 野老澤の歴史をたのしむ会 (大館 徹 2924-3010)

12月17日(木)13:00～17:00
生涯学習センター1階多目的室 2020年度総会

10. ドラマティック・カンパニー (高橋 信行 090-9393-6238)

12月26日(土)10:00～12:00 中央公民館 学習室3号
朗読 シェイクスピア原作「ヘンリー4世」
1月9日(土)、23日(土)10:00～12:00 中央公民館 学習室3号
(予定)

11. 懐かしの映画・鑑賞会 (二上 拓夫 080-1250-6151)

12月8日(火)10:00～12:30 西新井町会館
邦画「忠臣蔵」('59年) 年末恒例 東映オールスター
⇒年末最後の上映会・来年の上映計画・イベントの紹介
1月26日(火) 新春上映会 / イベント: 蘭玉飾り

12. 脳活サークル (加曾利 厚雄 2939-2308)

12月10日(木)13:30～15:30
子どもと福祉の未来館 多目的室3号・4号(3階)
【音楽療法】⇒音楽による脳活クイズ・リズム運動・楽器演奏
講師: 佐井佳代子氏
1月18日(月)13:00～15:30 落語鑑賞・国立演芸場

13. 傍聴席 (石堂 智士 2947-0835)

12月21日(月)14:00～16:00 新所沢東公民館研修室1号
「今年の反省会・最近の話題」会員の自由討議など
定員15名
1月18日(月) 新所沢東公民館 「総会・計画討議」

14. 民話の会 (仲山 富夫 090-3902-0283)

12月18日(金)10:00～13:00 こどもと福祉の未来館
多目的室2号 総会(今期報告 次年度活動計画 昼食会)
『たにしのやせ我慢』完成版、読み合わせ
1月22日(金) 中央公民館音楽室 定例会
『たにしのやせ我慢』読み合わせ、録画

理事会報告 11月9日(月) 第11回理事会を開催しました。

◆14期総会に向け、13期総括と14期予算を確認しました。
13期はコロナ感染拡大の中、慎重に取り組みを試行し2元方式が見えてきました。14期ライブ会場とオンライン配信での2元的開催を実現していきます。具体的計画として①サークル活動紹介②時局講演会③チャリティーコンサート④文芸講座、これらの行事を世の中の情勢をみつつ、臨機応変に開催します。

PC相談会を開催し会員のPC操作レベルアップを支援します。
“ところざわ倶楽部まつり”は実行環境を整えるのが難しく、来期は実施を見送りたいと思います。

◆14期総会は、11月25日(水)新所沢公民館ホールにて13時より開催しました。総会出席者85名、上映会出席者はほぼ同数。コロナ感染防止対策を入念に行いました。

みんなの広場 第27回

葵の会
森井 茂吉

映画「ボウリング・フォー・コロンバイン」



マイケル・フランシス・ムーア

Michael Francis Moore, 1954年4月23日生

アメリカ合衆国のジャーナリスト、

ドキュメンタリー映画監督、

テレビプロデューサー、

代表作:「ボウリング・フォー・コロンバイン」「華氏119」他。

先日マイケル・ムーア監督の映画を見て、アメリカ合衆国の一部と思うが歪んだ社会の考え方を見た。

多人種の人達が生きて居るのだから仕方ないのかなと思うがでもやはり変だ。アメリカ合衆国はかつてイギリスからの入植者を何人も分け隔てなく受け入れる国だと思っていたが、時の経過と共に変化したのか？入植当時は大陸住民との戦いもあったでしょう。銃は必要だったかも知れないが、その考え方が今に至っているとしたら残念です。

誰もが簡単に銃を普通の shop で買う事が出来るなど銃を生産・販売出来る法があるアメリカは、セキュリティを過剰に大事にする。他国を破壊し、市民を犠牲にし、その責任をとらない、理解出来ないです。

日本においては、これから自分の意見をきちっと言える国になりたいものです。他国の良い所悪い所を選択して取り入れ、国民を主にしたほんとうの民主主義国家を日本なら創れる筈、この扱い方を間違えるとんでもない事になる。

ところでコロナウイルス第3波が近づきそうです。ウイルスに対する防衛に経済が入り難い局面を迎えています。各々充分気を付けて、この年末年始を迎えましょう。

「むさし野俳句会」も新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言以降なるべく短時間で句会を行うようにしております。しかしながら、高齢化には逆らえず最近メンバーが減少しています。第一火曜日の九時三十分から行いますので左記三名の者に「照会下さい」。

連絡先 小林 2996-4941 井出 2944-9833 海老澤 2922-0259

メビウスの帯に惑ひて冬に入る
ぬれ縁に冬日届かぬ野菜干し
茶の花や小言忘れぬ卒寿の師
長老の手柄話や柿日和
毛糸編む模様生み出す指の先
初恋に及ぶ閑話や石路の花
並木路落葉踏みしめ行く媼
開き初む嬰の拳よ花八つ手

小林 貞男
小林 典子
佐藤 八郎
白神 恵子
高梨 千代
高橋三加子
利根川啓一
中嶋 弘子

水のなき手水舎石路の花明り
旧姓の便り寒夜の星明り
桁はかり一目二目と毛糸編む
冬の雲越後にのこる不思議
階段に手摺り取り付け冬の月
墨堤の海舟像や小春風
遊びゐるごとくに洗車小六月

橋本 佑子
平栗 彰子
宮本 信生
荒幡千鶴子
井出 昇
海老澤愛之助
鈴木 征子

むさし野俳句会（令和二年十二月）作品抄



《編集後記》

今年のカレンダーも残り一枚となりました。振り返ってみるとこの一年、アツという間に駆け抜けてきたように感じます。外出自粛要請期間中、しみじみ思ったことがありました。

それは、今更ですが衣食住、特に食と住の大切さです。農薬や添加物の少ないもの、それらを愛情込めて料理し、ゆっくり味わっていただく。

その場にいるだけで元気になれるように場を整える。それにはまず不要なものを徹底的に処分すること。身の回りの物を減らすことで、なんだかとてもご機嫌になれるのです。今年はそうしたことにじっくり取り組む事ができました。

これからいよいよ冬本番を迎えます。何かと慌ただしい時期ではありますが、益々健康に留意し心身共に良いエネルギーを蓄えて行きたいと思っています。

(大木 記)

「広場」問合せ 玉上 佳彦 (090-2497-1076)

川柳〔五十七〕 作品発表 選 中島峯生

課題「雑談」

雑談で世渡り学ぶ主婦の知恵
雑談に少し顔出す遺産分け
雑談に上司加わり本音止む
雑談もアクリル板が邪魔をする
寒い日に井戸端会議悪話
おしゃべりは昔井戸端いまスマホ

「自由題」

子供らの落ち葉集めに風が舞う
あくまでも負けを認めぬ偉い人
電話には出たくない訳あり過ぎる
助け合い夫婦互いの得手不得手
スピーチを終えて気がつく言い忘れ
孫をみてうちの家系と自慢する

次回（第58回）課題「帰る」そして「自由題」

締切り日：12月20日、担当中島まで、どなたでも

宛先 mh-naka@jcom.home.ne.jp Fax 04-2928-1161